

教育研究業績書

2018年11月21日

所属：生活造形学科

資格：教授

氏名：岩田 章吾

| | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| 研究分野 | 研究内容のキーワード |
| 建築インテリア設計, 建築計画, 建築論, 近代建築史 | 建築, 設計, ミース・ファン・デル・ローエ |
| 学位 | 最終学歴 |
| 博士(工学), 修士(工学), 修士(Science), 学士(工学) | 神戸大学大学院 自然科学研究科 地域空間創生科学専攻 博士課程 修了 |

| 教育上の能力に関する事項 | | |
|------------------------------|---------------|---|
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 教育方法の実践例 | | |
| 1. メーリングリストを活用した設計課題相談所 | 2010年9月～現在 | 設計演習の課題に対する授業時間外の質疑をメールにて受け付け、そこでのやり取りを受講者全員で共有することで、問題意識などの共有をはかる。 |
| 2. テーマの実現のための実践的演習 | 2009年9月～現在 | 与えられたテーマに対するソリューションに関して、その実現のための技術的探求を行わせることで、デザインと技術の統合の難しさや面白さを理解させる。 |
| 2 作成した教科書、教材 | | |
| 1. テキスト建築の20世紀 | 2009年12月30日発行 | 20世紀の都市と建築のマクロ的な視点と一人の建築家や作品に注目するミクロな視点を交錯させながら、その時代のうねりを伝える。共著 |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| 1. JIA近畿支部オープンスクール講師 | 2010年7月～現在 | 「時代の写像としての建築」と題した講義において、近畿圏の建築系学生に、建築と時代精神の関係について講義した。 |
| 2. 学生のインターンシップの受け入れ | 2007年8月～現在 | 実際の建築設計の場での経験を通じて、建築の社会的役割や、その意義を理解させた。 |
| 4 その他 | | |

| 職務上の実績に関する事項 | | |
|---|------------------|---|
| 事項 | 年月日 | 概要 |
| 1 資格、免許 | | |
| 1. 一級建築士 | 1992年2月7日 | |
| 2 特許等 | | |
| 3 実務の経験を有する者についての特記事項 | | |
| 1. “International Master Class ‘Form and the City’ --- “The Power of South” への参加 | 2007年5月から2007年6月 | International Architecture Biennale Rotterdam 2007のプログラムのひとつとして世界中の建築系大学院生を集めたワークショップに関西大学の大学院生の指導者として参加。発表作品は佳作となった。(新建築にレポート掲載) |
| 2. Columbia University Graduate School of Architecture, Planning and Preservation 客員研究員 | 2000年6月から2001年5月 | 同大学のJoan Ockman教授の指導の下レポート「Montage the critical approach toward the epoch by Adolf Loos, Mies van der Rohe, and Rem Koolhaas」作成 |
| 3. Columbia University Graduate School of Architecture, Planning and Preservation 留学 | 1999年6月から2000年5月 | Master of Science in Advanced Architectural Design 修了 |
| 4 その他 | | |

| 研究業績等に関する事項 | | | | |
|--|---------|-----------|----------------------------------|--|
| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
| 1 著書 | | | | |
| 1. テキスト建築の20世紀 | 共 | 2009年12月 | 学芸出版 | 建築史の講義だけでなく、建築論、建築造形論などの講義などにも活用できるように近代建築成立をその背景を含めわかり易く解説 |
| 2. 研究論文集 日独百年の建築・都市計画における相互交流 Dream of the Other 彼岸の夢 | 共 | 2008年3月 | 神戸大学21世期 COEプログラム | ドローイングにおけるミースのドイツ期とアメリカ期の表現の差異を分析・考察 |
| 3. International Master Class ‘Form and the City’ --- “The Power of South” | 共 | 2007年10月 | Berlage Institute, P act op Zuid | International Architecture Biennale Rotterdam 2007のプログラムのひとつとしてベルラーヘ・インスティテュートで開催されたワークショップ(移民の流入などにより問題を抱えるロッテルダム南地区の各所に対する改善プログラムを提示)の記録 |
| 2 学位論文 | | | | |
| 1. ミース・ファン・デル・ローエのモンタージュと空間表現について | 単 | 2006年9月 | 神戸大学大学院 | ミースのモンタージュドローイングの分析を通じて、そこに見られる彼の空間理念を分析・考察 |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・ 共著書別 | 発行又は 発表の年月 | 発行所、発表雑誌等 又は学会等の名称 | 概要 |
|---|-------------|---------------|-----------------------------------|--|
| 2 学位論文 | | | | |
| の研究 | | | | |
| 3 学術論文 | | | | |
| 1. ミース・ファン・デル・ローエの内観モンタージュにおける外部空間表現について（査読付） | 共 | 2011年1月 | 日本建築学会 計画系 論文集 | ミースのモンタージュドローイング分析から、その内部空間と外部空間の関係を明らかにし、その建築的の意味を考察 |
| 2. ミース・ファン・デル・ローエの内観モンタージュにおける空間表現の形式的特質について（査読付） | 共 | 2009年3月 | 日本建築学会 計画系 論文集 | ミースのモンタージュドローイングの分析から、その概念表現としての特質を考察 |
| 3. ミース・ファン・デル・ローエのモンタージュ表現とその特質に関する研究（査読付） | 共 | 2006年9月 | 日本建築学会 計画系 論文集 | ミースのモンタージュドローイングの全数を調査し、その傾向、歴史的な変遷を分析 |
| 4. 言説に見るミース・ファン・デル・ローエの建築理念に関する研究（査読付） | 共 | 2006年5月 | 意匠学会編『デザイン理論』 | ミースの言説の分析を通じて、彼の建築理念の歴史的変遷を分析 |
| 5. ミースのインテリア透視図のモンタージュに見る内外空間の表現に関する研究（査読付） | 共 | 2006年3月 | 神戸大学大学院自然科学 科学研究科紀要 | ミースのモンタージュドローイングの分析を通じて、彼のドローイング表現の特質を概括 |
| 6. ミース・ファン・デル・ローエのモンタージュに関する研究（査読なし） | 共 | 2004年8月 | 日本建築学会 学術講 演梗概集F-2 建築歴史 ・意匠 | ミースのモンタージュドローイングを全数調査しその傾向と歴史的変遷を概括 |
| 7. 「サヴォア邸」の批評としての「ボルドーの家」（査読なし） | 共 | 2003年8月 | 日本建築学会 学術講 演梗概集F-2 建築歴史 ・意匠 | レム・コールハースによる「ボルドーの家」をル・コルビュジェによる「サヴォア邸」の形式を引用した近代建築批評として読解 |
| 8. ミース・ファン・デル・ローエの時代認識の変遷に関する研究（査読なし） | 共 | 2003年6月 | 日本建築学会 日本建 築学会近畿支部研究報 告集 | ミースの言説を分析し、その歴史的な変遷を見ることで、その建築理念の形成過程を分析 |
| 9. 'Montage -The critical approach toward the epoch by Adolf Loos, Ludwig Mies van der Rohe and Rem Koolhaas'（査読なし） | 単 | 2001年5月 | | コロンビア大学 客員研究員の1年の成果として提出 アドルフ・ロース、ミース・ファン・デル・ローエ、レム・コールハースの3者の時代精神とのかかわりを分析・考察 |
| 10. えいの里保育園（審査あり） | 単 | 20年3月20日 | 日本建築学会 建築雑 誌増刊作品選集2013 | 明石市江井島地区に新設された90人規模の保育園である。子供たちの日々の大半を過ごす保育園を「みんなで過ごすおきなおうち」と位置づけた。園庭をコの字型に囲む木造平屋を基本とし、そこに木造仮構の大屋根をかけることによって大きなおうちとしてのイメージを象徴的に表現した。また、園庭側はすべて開口とし、軒先を大きく出すことによって、風の道を作り、夏場でも空調に頼らず快適に過ごせる空間とした。 |
| その他 | | | | |
| 1. 学会ゲストスピーカー | | | | |
| | | | | |
| 2. 学会発表 | | | | |
| | | | | |
| 3. 総説 | | | | |
| | | | | |
| 4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績 | | | | |
| 1. えいの里保育園 | 単 | 2012年4月1日 | 新建築4月号 | 明石市江井島地区に新設された保育園である。子供たちの日々の大半を過ごす保育園を「みんなで過ごすおきなおうち」と位置づけた。園庭をコの字型に囲む木造平屋を基本とし、そこに木造仮構の大屋根をかけることによって大きなおうちとしてのイメージを象徴的に表現した。また、園庭側はすべて開口とし、軒先を大きく出すことによって、風の道を作り、夏場でも空調に頼らず快適に過ごせる空間とした。 |
| 2. S Dレビュー鹿島賞(大賞) | 共 | 2010年12月 | 鹿島出版会 S D 2010 | インターンシップの一環として、神戸大学大学院生を指導して作成した「解体足場の家」が模型及びドローイングによる建築展「S Dレビュー」の大賞に入選 |
| 5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等 | | | | |
| 1. ミース・ファン・デル・ローエのモンタージュとその空間表現 | | 2008年2月 | 建築学会近畿支部建築 論部会講演会 日本建 築学会 | モンタージュの空間表現からミースの空間理念の特質を考察 |
| 2. 都市計画のオルタナティブを ベルラーヘインスティテュートでのワークショップ「Form and the City」に参加して | | 2007年8月 | 新建築8月号 | 関西大学の大学院生とともに参加したロッテルダム建築ビエンナーレにおけるワークショップの活動を報告 |
| 3. ミースとモンタージュ表現 | | 2005年9月 | 日独建築交流シンポジ ウム『Dreams of the 0 | ミースの空間理念を表現するものとしてのモンタージュに注目しその特質を分析 |

研究業績等に関する事項

| 著書、学術論文等の名称 | 単著・共著書別 | 発行又は発表の年月 | 発行所、発表雑誌等又は学会等の名称 | 概要 |
|--------------------------|---------|-----------|---------------------------|----|
| 5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等 | | | | |
| | | | ther彼岸の夢』神戸大学21世紀COEプログラム | |
| 6. 研究費の取得状況 | | | | |
| | | | | |

学会及び社会における活動等

| 年月日 | 事項 |
|-------------|------------|
| 1. 2008年～現在 | 日本建築美術工芸協会 |
| 2. 2007年～現在 | 日本建築家協会 |
| 3. 2006年～現在 | 意匠学会 |
| 4. 2005年～現在 | 大阪府建築士会 |
| 5. 2003年～現在 | 日本建築学会 |